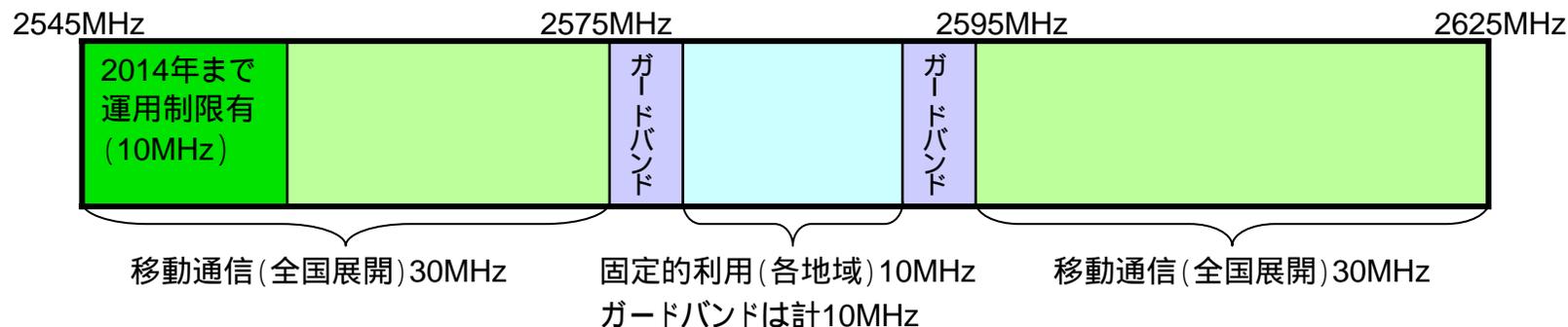


広帯域移動無線アクセスシステム(BWA)  
への周波数割当てについて

2007年5月31日  
総務省総合通信基盤局

# 広帯域移動無線アクセスシステムへの周波数割当てについて

## 1 2.5GHz帯の概要



## 2 免許方針案の概要

### (1) 移動通信 (全国単位で30MHzずつ最大2社に割り当て)

技術間競争及び新規参入の促進により、新たな無線サービスの展開と市場の活性化を図るため、第三代移動通信事業者及びそのグループ会社以外の者に割り当て(ただし、3分の1以下の出資による事業参加は許容)。

WiMAX、次世代PHS、MBTDD-625kMC、MBTDD-Widebandの4方式の中から事業者が選択。

MVNO(仮想移動体通信事業者)による無線設備の利用促進のための計画の策定を義務付け。

認定後3年以内にサービス開始、認定後5年以内に各管内のカバー率50%以上の達成等を要件。

### (2) 固定的利用 (原則市町村単位で、各地域において10MHzを割り当て)

光ファイバやADSLが利用できない「ブロードバンド・ゼロ地域」の解消に向け、地方公共団体、CATV事業者等による無線ブロードバンドの導入を促進、地域の公共の福祉の増進に寄与(市町村、都道府県の意見を参考)。

WiMAX、次世代PHSのいずれかを利用。

## 3 今後のスケジュール

- ・ 上記内容を盛り込んだ免許方針案を5月15日(火)に公表。6月15日(金)までパブリックコメントを募集中。
- ・ 移動通信については、電波監理審議会に諮問して開設指針を決定し、本年秋頃に周波数割当て事業者を決定。
- ・ 固定的利用については、免許方針を決定した後、本年秋頃から各地域において免許申請を受付け。

# 2.5GHz帯広帯域移動無線アクセスシステムの主な利用シーン

## 移動的な使い方

主に都市部で使用、全国サービス(全国免許)

インターネット

(主に都市部)

1 ~ 1.5 km程度

ノートパソコン  
PDA端末等

(都市部を中心にカバーし、  
中速程度の移動体にも対応)

## 固定的な使い方

条件不利地域で使用、地域サービス(地域免許)

基地局

(条件不利地域)

中継回線

(条件不利地域への  
中継回線の提供)

~ 10 km程度

中継局  
(端末局/ 基地局)

~ 4 km程度

端末局

(条件不利地域において、高利得アンテナを用い、  
加入者宅へラストワンマイル  
のインターネット等の接続回線を提供)

# 広帯域移動無線アクセスシステムが目指す事業領域について

【参考】主要な無線サービスの通信速度比較

	最大の通信速度	電波の到達距離
第三世代携帯電話 (HSDPA)	3.6Mbps (14.4Mbps)	2-3km
既存の無線LAN	54Mbps	100m
WiMAX	20Mbps程度	2-10km
次世代PHS	20Mbps程度	数km

・映像等に対応したインタフェースを重視

端末の特徴

・小型化・軽量化を重視

## 広帯域移動無線アクセス

- ・データ通信の通信速度を重視
- ・多様な端末から低廉な料金で無線のブロードバンド接続を提供
- ・水平分業型のビジネスモデル



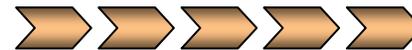
## 携帯電話

- ・音声通話の接続品質を重視
- ・データ通信端末の種類や料金水準には限界
- ・垂直統合型のビジネスモデル

・データに特化  
・All IP網



サービスの特徴



・音声中心  
・回線交換網

# 移動通信用周波数の状況

周波数	周波数帯	700/800/ 900MHz	1.5GHz	1.7GHz	2GHz	1.9GHz	2.5GHz
	割当て等の 状況	1979年から第一 世代(自動車電話)、 1993年から第二 世代サービス開始  2005年から再編中 第三世代用に逐次 割当て	1994年から第二 世代サービス開始  2008年から再編 第三世代用に割当て 予定	2005年から第三 世代用に割当て中	2001年から第三 世代サービス開始  2005年にアイピー モバイルに割当て	PHSに 割当て  (1995年 から開始)	今回BWA に割当て
事業者	NTTドコモ	/					
	KDDI						
	ソフトバンク モバイル						
	イー・ モバイル						
	アイピー モバイル						
PHS	ウィルコム						

：第三世代携帯電話用に割り当てられたもの      ：第二世代携帯電話用等に割り当てられたもの

：NTTドコモのPHSは2008年1月サービス終了予定